

## 令和5年度 特別活動研究集録の作成について

特別活動部では、本年度も市内各校の実践を集め、研究集録を作成します。第3回研修会で各ブロックの研究集録を作成し、各ブロックから推薦されたものを市の研究集録としてまとめています。研究集録については、実際の授業や学級づくり、学校づくりの場などにおいて活用できるものにしていきたいと考えています。

各校の特活主任の皆様におかれましては、毎年、お忙しい中、集録の作成に取り組んでいただいています。貴重な時間を使って作成していただくものだからこそ、より「使える」集録にしていかなくてはならないと思います。以下をお読みいただき、作成を進めてください。

### 1 原稿について

- 各校A4 2ページのレポートを作成していただきます。テーマについては、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の中から、自校の実態に合わせ、伸ばしたい力を考え、選んでください。実践内容によって1つのテーマに絞れない場合は、2つのテーマを併記して構いません。(主となるテーマを先頭に記述してください)

なお、研究部としましては、特別活動の基盤となる「学級活動、学級づくり」に特別活動主任が自ら取り組んだ実践レポートを推奨します。また、学校づくり、子どもたちの手による児童会生徒会活動、特別活動と道徳その他の教科・領域との関連、年間指導計画の作成等、特色ある実践がありましたらぜひ紹介してください。

- 提出していただいたレポートは、ブロックごとにブロック実践集としてまとめます。その中から数点選出し、市研究集録として掲載させていただきます。

- ・原稿は各ブロックの人数+15部を裏表印刷する。
- ・Word作成し、データとして各ブロック長に提出日までにミライムにて送信する。

データ提出日 : 令和5年11月7日(火)

原稿提出日 : 令和5年11月8日(水)第3回市教研

### ○ ブロックごとの提出先と印刷部数

部会	提出先	印刷部数
1・2	梅田 健太(佐鳴台小)	37+15 <52部>
3・4	宮崎 裕太(東陽中)	36+15 <51部>
5・8	鈴木 研太(二俣小)	32+15 <47部>
6・7	市川 重(引佐北部中)	43+15 <58部>

レポートの原紙と作成例は、4月12日付で、可美小学校の杉浦がミライムで送りましたデータを活用してください。